

Smart Community Summit 2012

コーディネーター
明星大学理工学部
電気電子工学系教授伊庭
健二氏

これまでのスマートグリッドは電力系統網についての話だった。だが、スマートコミュニティという用語は、まちや地域のいじめつくりへと意識が変わってきた。特に発展途上国においては人口増加を吸収して生活しやすいまちをつくるというニーズがあり、日本などはどう貢献できるかがテーマとなる。また、同時にビジネスモデルを継続していくかも大きな課題だ。この評価には行政、銀行家、国際協力、メカナーの4つのポイントがあり、本日参加の皆さんから順番にお話を伺ってみたい。

マレーシア・グリーン・テクノロジー・コーポレーション副社長



モハメド・アズリン・モハメド・アリ氏

環境・情報で技術結集

アジア開発銀行(ADB)
地域・持続的開発局長兼チーフ
コンプライアンスオフィサー
兼情報システム技術部長



シーサ・パーシー・チャンダーダー氏
地域開発局長
地域・持続的開発局長兼チーフコンプライアンスオフィサー
兼情報システム技術部長
スマートコミュニティの研究を行っている。また最近ではスマートシティ、スマートグリッドという構想が始まっている。ここでは、情報技術(ICT)とグリッドテクノロジーを活用して農村における開発と都市化環境配慮のバランスをとっている。ICTの導入によって農村の住民はスマート技術などにアクセスできるようになり、より経済的な取り組みをいくつ実践しており、例えばスマートヤヤでは低炭素な都市開発の実現を目指す。スマートコミュニティの研究を行っている。スマートグリッドを導入することで需給バランス、セクターの改革を進めていきたい。

分散電源対応 蓄電にEV インフラ共有化でコスト減

伊庭 各自の発表を聞いたコメントをいただきたい。
竹中 新興国向けではや
てコメンツをいたさ
い。

アズリン インフラが持つ製品をできるだけ活用しながら、陳腐化しないままうちに注力している。

ギーレン スマートグリッドを発展途上国で活用するためには、実証済みの技術が非常に使い勝手がよいことが条件になる。私たちが直面している課題だ。

伊庭 アズリンさんにお聞きしたいスマートビリジで重要な要素とはどういったものか。

アズリン スマートビリジといった場合には道路や通信インフラが必要だが、マレーシアにおいては特に農村部におけるエイティンフラの構築が課題となつた。

伊庭 チャンダーダーさんにお聞きしたい。どうしてもICTのコストを下げるこ

快適と持続可能両立 企業連合で国際規格取得

東芝執行役常務待遇スマート
コミュニティ事業統括部首席技監



竹中 章二氏

導入支援へ制度拡充

農村部のインフラ普及急ぐ
ICTで生活の質向上

アズリン マレーシアでつなげる取り組みをいくつか実践しており、例えばトライヤヤでは低炭素な都

市化環境配慮のバランスをとっている。ICTの導入によって農村の住民はスマート技術などにアクセスできるようになり、最終的には

日本政府NEDOとの協

導入も検討しているスマ

ートグリッドのロードマッ

クを開発し、実現に向けて

いる。また、蓄電技術の

導入も検討しているスマ